
「Add-Value for 電子記録債権/手形管理」を 「SAP® Cloud Platform」上で提供開始 ～「SAP S/4HANA®」の効率的な導入支援サービス「Add-Value」シリーズ～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者 谷原 徹、以下 SCSK)は、SAP システム標準の手形機能をベースに、「電子記録債権要件」と日本固有の「手形管理要件」を付加した「Add-Value for 電子記録債権/手形管理」サービスを、SAP 社のインテリジェントエンタープライズ向けに構築された統合・拡張プラットフォームである「SAP Cloud Platform」上で2020年12月2日から提供開始します。

1. 背景

SCSKは1993年より25年以上にわたりSAPビジネスを担い、商社・製造業を中心に400社以上のお客様へSAPシステムの導入ならびに保守運用サービスを行ってきました。また、オンプレミス版の「Add-Value for 電子記録債権/手形管理」についても1997年から提供を開始し、今までに120社以上のお客様へ導入しています。

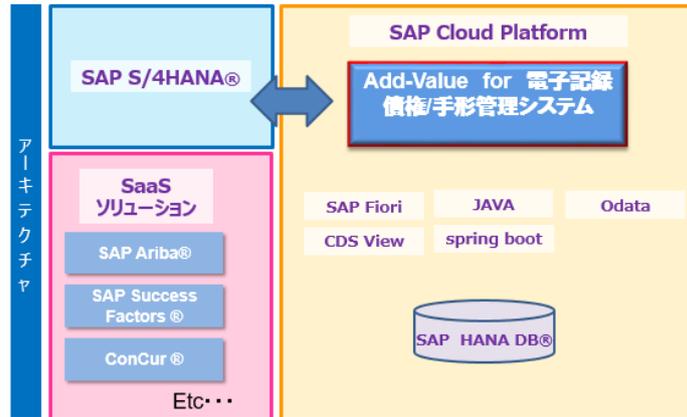
昨今、企業ではデジタル変革の基盤を確立するため、ERPシステムの見直しが進んでおります。従来のERPシステムは肥大化・複雑化し、市場の変化に柔軟に対応することが困難になっているケースが散見されます。これからのERPシステムのあるべき姿は、デジタルコアに手を入れないシンプルなERPと、アドオンや拡張要件をERPと疎結合で連携させることにより、システムアップデートなど、将来発生するコストの最小化と変化への柔軟性を確保することが主流になっています。

SCSKでは「SAP S/4HANA」標準機能の最大活用と、アドオンや拡張要件はSAPシステムとの親和性の高い「SAP Cloud Platform」を利用することを推奨しており、SAP ジャパン株式会社の支援を得て、いち早く「SAP Cloud Platform」開発技術者の育成と開発標準の構築を行っています。これらの取り組みを経て、根強くニーズのある電子記録債権/手形管理要件への対応ソリューションとして「Add-Value for 電子記録債権/手形管理」の提供を開始しました。

2. 「Add-Value for 電子記録債権/手形管理」の概要

「SAP® ERP」「SAP S/4HANA」システム標準の手形機能をベースに、「電子記録債権と日本固有の手形管理要件」を付加し「SAP Cloud Platform」で稼働するSCSKオリジナルの製品です。

SAP Cloud Platform 版「Add-Value for 電子記録債権/手形管理システム」の特長は下記4点です。



Add-Value for 電子記録債権/手形管理システムの位置づけ

①電子記録債権に対応

現物手形との一元管理、特有の会計処理、固有の業務に対応できるよう機能拡張しています。「でんさいネット※」にも対応しています。

※ 全国銀行協会の電子債権記録機関である全銀電子債権ネットワークが運営

②SAP システム標準の手形機能に、日本固有の業務に対応できる機能を付加

計 50 以上の機能とレポート、5 つのアドオンテーブルで構成。SAP システム標準の手形機能ではカバーできない、日本固有の業務プロセスに対応した機能を実装しています。

| 区分 | 主な機能 | 機能概要 |
|--------|----------|--|
| 受取手形管理 | 顛末管理 | 取立/割引/裏書/担保/流動化といった、多様な手形顛末を管理可能 |
| | 電子記録債権管理 | 現物手形と同様に、電子記録債権に関しても顛末管理等が可能 |
| | 一括処理 | 各種顛末確定時や決済時に、一括で会計伝票を計上する事が可能 |
| | レポート出力 | 銀行依頼明細表、落明細表等、各種レポートの出力が可能 |
| 支払手形管理 | 分割機能 | 印紙税を最適化する経済化分割及び、仕入先別に任意の分割を設定する事が可能 |
| | 採番管理 | 手形番号/手形管理番号の2種類の番号を管理可能 |
| | 支払信託管理 | 支払手形同様に支払信託の管理及びデータファイルの作成が可能 |
| | 期日現金管理 | 支払手形同様に期日現金の管理及びデータファイルの作成/銀行手数料の計上が可能 |
| | 電子記録債務 | 現物手形同様、電子記録債務に関しても一括決済処理することが可能 |
| | 一括処理 | 期日指定での一括決済処理が可能 |
| | レポート出力 | 印紙税額一覧、落明細表等、各種レポートの出力が可能 |

※主な機能を一部抜粋

③受取手形管理/支払手形管理の各種要件に対応

それぞれの業務プロセスに対応した機能を完備。受取手形や支払手形の情報(手形番号、振出人、支払期日、ステータス、印紙税、金額など)の一括管理が可能です。

④SAP の先進的な Fiori UI の利用が可能

ブラウザによる UI により、SAP GUI の導入や、接続設定を行う必要がありません。

SAPジャパン株式会社からのエンドースメント

SCSK株式会社様が SAP Cloud Platform 版「Add-Value for 電子記録債権/手形管理」システムの提供を開始されたことを歓迎します。本サービスは、「SAP Cloud Platform」上に構築された日本独自の商習慣に対応する日本初のパートナーソリューションです。「SAP Cloud Platform」を中心とした SAP Business Technology Platform による技術革新のメリットを顧客企業にご享受いただきたいとする SAP の戦略にご賛同いただけたことは、SAP ジャパンとして大変喜ばしいことです。SAP Business Technology Platform の活用によって実現された本サービスの機能拡張性は市場変化への迅速対応を可能とし、顧客企業のデジタル化にさらなるお役立てができると確信しています。今後、SCSK株式会社様が SAP Business Technology Platform 上で稼働するサービスを拡充されることにより、「SAP S/4HANA」をご利用される顧客企業に対してさらなるビジネス価値が提供されることを期待いたします。

SAP ジャパン株式会社

バイスプレジデント チーフ・イノベーション・オフィサー 兼 プラットフォーム・テクノロジー事業本部長
首藤 聡一郎

SAP ジャパン株式会社について

SAP ジャパンは、SAP SE の日本法人として 1992 年に設立されました。世界中の商取引売上の 77%は何らかの SAP システムを経由しており、エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア市場のリーダーとして、あらゆる業種・規模の企業の成功を支えています。SAP のマシンラーニング、IoT、高度なアナリティクスの技術により、従業員がより価値の高い成果に集中できる企業のあり方である「インテリジェントエンタープライズ」へとすべての企業が変革できるよう支援することを戦略に掲げています。さらに、人々や組織が的確なビジネス判断を行うための洞察力を深めるサポートをし、高い競争優位性を実現するための協業を促進しています。よりシンプルになった SAP の技術により、企業はボトルネックにわずらわされずに目的に沿ってソフトウェアを最大限に活用できるようになります。SAP のエンド・ツー・エンドのアプリケーションスイートとサービスは、世界 25 業種における企業および公共事業のお客様が利用し、ビジネスにおいて利益を上げ、絶え間ない変化に適応し、市場における差別化を実現するサポートをしています。お客様、パートナー、社員、ソートリーダーなどのグローバルネットワークを通して、SAP は世界をより良くし人々の生活を向上させることに貢献しています。
(www.sap.com/japan)

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

■SCSK株式会社

AMO 第一事業本部

ソリューション営業部 坂下

E-mail: sap-info@ml.scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

■SCSK株式会社

広報部 後藤

TEL:03-5166-1969

- ※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。
- ※ SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。